

わざラボ！第2回「紙を感じる」

～製紙体験と工場見学～

【アンケート】

開催日：2012年9月21日（金）

時間：8:15~18:30

スケジュール：柿田川見学→昼食→日清紡ペーパープロダクツ工場見学（オリジナルペーパー作成）

参加者：9名

■ 紙を選ぶときの一番のポイント

- 書き心地
- 肌触り、価格、希少性
- イメージとあっているか、価格
- 紙の手触りや素材感
- デザインのコンセプト
- 質感
- 紙が持っている特別な雰囲気

■ 今後新しい紙が開発されるとしたら、クリエイターとしてはどんな紙が欲しいか

- 今までにない感触の紙
- 価格をおさえた質感の面白い紙
- 新しい触り心地
- あたたかい色味の出しやすい紙
- 柔らかい布のような紙
- 土壁のような手触りの紙
- 食べられる紙
- 燃えにくい紙
- 透明な紙
- 色が変わる紙
- ぬれない紙
- 人間みたいに年をとると変わる紙

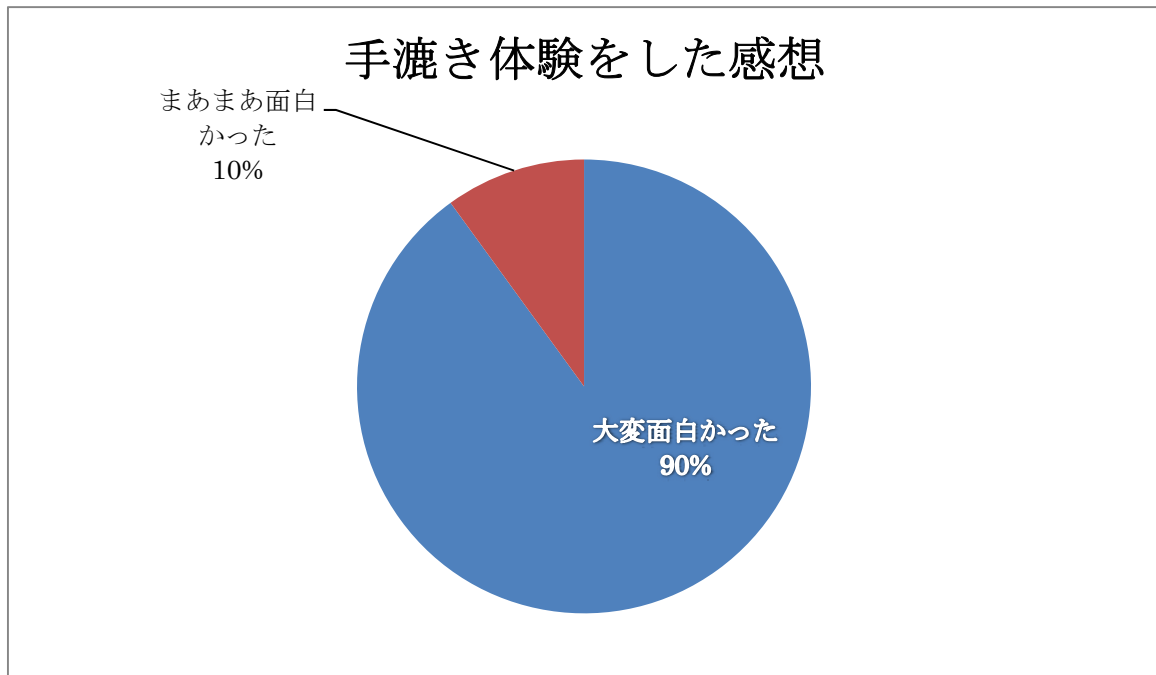
■ 製紙工場を見学した感想

アンケート回答者の全員が製紙工場の見学は初めてで大変興味深く有意義だった。

✂ 特に印象に残ったこと

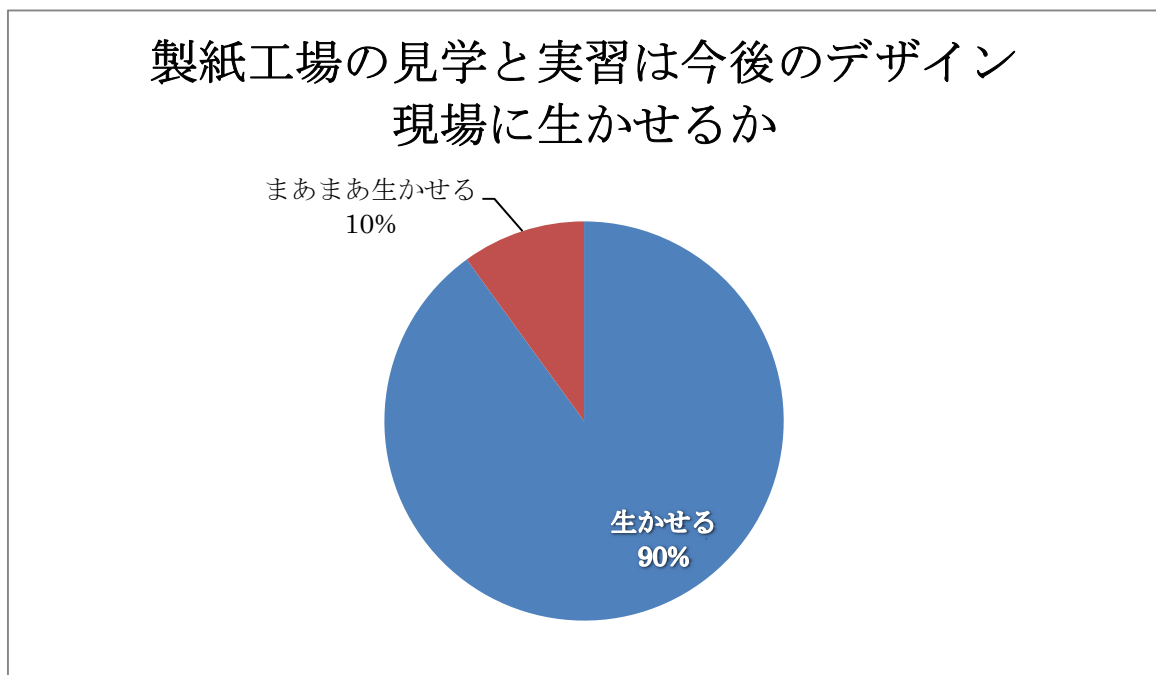
- 自然と技術、両方とも大切にすべきであり、工場は人々の生活を支えていると実感
- 目の前で出来たばかりの紙に触れたこと
- 普段意識していなかったエンボス加工の紙の製作工程をみることができたこと
- 紙を作るのに手間と情熱をかけていることに感動
- 機械が近くでみることができたこと
- のりを一切使わず木や竹の繊維のみで出来ているところ
- 紙をロールにして3つくらい積み上げている倉庫
- クライアントによって、リンゴの皮やウインを作るときにでるガスなどを配合して紙を作るという話

- 工場全体の清掃などはどうされているのか気になった



✂ 上記以外の感想

- 思ったような色や風合いをつくるのは難しかったがとても有意義だった
- ミランダのラメがあんなふうにつけられていたことに驚いた
- パルプだけで、のりを使わずに紙ができることに驚いた
- 完全に乾いて出来上がるまで、どんな紙になるか分からなくコントロールできないことが楽しかった
- 自分の目で見ると、TV との差を感じ強く印象に残った
- もっと手間がかかるものかと思ったら、あっという間にできていたので驚いた
- 紙作りのプロセスをみることができ、すごくためになった
- ラボは若い人が多いと感じた



✂ 具体的な感想

- 紙の質などを考えてデザインしていきたい
- 紙に愛着がわいた
- パソコンの画面上だけでなく、紙の種類も考慮に入れてこれからデザインをしていこうと思う
- もっと作品の紙質にこだわりたいと思うようになった
- とても親切でわかりやすく教えていただき、嬉しかった。

◆ 今後参考のために

- ◇ アンケート回答者 9 人中 7 人が「わざラボ」について有意義な活動であると回答
- ◇ また開催回数開催日については 9 人中 5 人が問題がないと回答し、2 人が月 1 回なら何とかないと回答
スケジュールが合わせにくいとの回答が 2 人
- ◇ 今後取り上げてほしいこと
 - ・広い意味でのグラフィックとして、映像制作現場
 - ・プレゼンテーション、レタッチ術
 - ・紙を今までにはない使い方をしている人
 - ・紙のアート作品を見たり、作家さんに会う企画
 - ・着物の模様はどうやって作っているのか見てみたい